

# 写生花の歳時記

松尾 芳樹

土佐派絵画資料の中の「花卉画帖」は、多数の写生図や模写図を貼り込んだ粉本帖である。画帖の中に記された年紀は、天文17年(1548)から安永5年(1776)までのものが見られ、画帖の成立が土佐光起(1617-1691)の時代としても、相当長期間にわたり家中で使用されたものと見られる。

この画帖には多数の植物が描かれており、その中には描いた日付を記した資料も少なくない、それが写生であるのか、写生からの浄写日であるのか明確にできないという点はあるのだが、土佐家の絵師が移り変わる季節の中で、どのような植物に対して関心を抱いていたかの指標にはなるだろう。

もとより、ここに描かれた植物の種類を知ること自体、相当な難事である。この大変な作業を引き受けてくれた北地直子氏の同定に従って、あきらかな模写を省くなど、なるべく実態を反映すると思われる資料を拾い出し、そこに見られる植物名を列举してみた。

おそらく、日付は気まぐれに記された場合が多かったのだろうが、量的に把握してみると、花咲く3月から5月にかけての写生が、相対的に多いことがわかる。冬期にほとんど日付のあるものがないことからすれば、こうした点数は、土佐家における植物写生の実態を、意外に反映しているのではないかと考えている。この時期は彼らにとってオフシーズンであったのかもしれない。草花・木花ともに隔てなく、様々な種類の花を写し、写生地である東山知恩院の名を記すなど、四季を楽しむ絵師の姿が垣間見えて微笑ましい。

季節の景観を表す「花鳥風月」という言葉があるが、花鳥画というジャンルが、大きな役割を果たしていた近世は、今日よりはるかに強く季節の移ろいを感じていたに違いない。その中で、絵師がどのように自然との関わりを持っていたか、こうした花の名を知ることによって、多少なりとも具体的にイメージすることができるのではないだろうか。



土佐家の絵師がこれらの写生を行う際に「うつす」または「写」という書き入れをすることがしばしばである。「うつし」と「うつす」の間に意味の違いがあるのかはわからない。「うつし」が写し本すなわち浄写本をさす可能性もあるが、用例からすれば「うつし」は「うつし申」の省略形式かもしれない。写という文字が見える場合、表現にかなりバリエーションが見え、「写之=これをうつす」というオーソドックスな表現から、「生本ヲ写=いきほんをうつす」という少し変わった表現まである。

この「生本」という語は、かながきの例からすると「いきほん」と読むらしい。要するに実物を指す。実物に対しては「生」という言い方をする場合もあるがこの場合「いき」と読むのか「なま」と読むのかあきらかではない。また、「写生」の語が見えるばあい、「しゃせい」とよむべきか「なまをうつす」とよむべきかという悩みが生まれ、「生写」という語が見える場合「いきうつし」か「なまうつし」か「せいしゃ」なのかという悩みがついてくる。彼らがどのように読んでいたかということは、写生に対する考え方を理解するために貴重な情報となるはずだ。

季節季節に写されたこれら花木の大部分は、まさに「生本」を写すものであった。葉の拓を採ったり、大きさの留書をあらわすところに見える、彼らの実物に対するこだわりは、粉本主義として単純な古法の墨守へと帰結されがちな土佐家の制作論の中に、新鮮な目のあったことを教えてくれる。それだけに、以下の植物名から分かるとおり、直接の制作にはむすびつきそうもない植物まで幅広く描く彼らの姿に、流派というものを離れた、絵師個人の存在を見る楽しみもある。

### 【春】

《1月》2種

某日 キンポウゲ科フクジュソウ, ヒガンバナ科スイセン

《2月》6種

10日 ジンチョウゲ科ジンチョウゲ



- 18日 バラ科ハナカイドウ
- 23日 バラ科カリン
- 26日 スミレ科スミレ
- 27日 キク科カンサイタンポポ
- 某日 ヒガンバナ科スイセン

《3月》30種

- 02日 モクレン科モクレン
- 05・某日 ツツジ科シャクナゲ
- 06日 トクサ科スギナ
- 07日 アブラナ科アブラナ
- 08日 ツバキ科トウツバキ, ケシ科ケマンソウ,  
モクレン科ハクモクレン
- 10日 モクレン科シデコブシ, バラ科キイチゴ
- 18・30日 バラ科 サクラ
- 11日 バラ科クサイチゴ, バラ科ヒガンザクラ,  
マメ科レンゲソウ
- 14・某日 バラ科ヤマブキ
- 18・某日 バラ科モモ
- 20日 ユキノシタ科アジサイ, ツツジ科 ツツジ
- 21日 スミレ科スミレ
- 22日 キク科 キク, キンポウゲ科オキナグサ
- 25日 ウマノスズクサ科サイシン
- 28日 カエデ科ウリカエデ, アブラナ科ダイコン
- 某日 アヤメ科シャガ, キク科, キンポウゲ科カザグルマ,  
キンポウゲ科テッセン, サクラソウ科サクラソウ,  
ツバキ科ツバキ, バラ科ニワザクラ

【夏】

《4月》27種

- 01日 アヤメ科イチハツ
- 02日 バラ科ナワシロイチゴ, キンポウゲ科オキナグサ



- 06日 スミレ科スミレ  
 08・25日 キンポウゲ科シャクヤク  
 08日 トウダイグサ科ホルトソウ  
 09日 バラ科 バラ  
 10日 ケシ科ケマンソウ, バラ科コデマリ, アブラナ科ナズナ  
 11日 サトイモ科カラスビシャク  
 11・某日 ユキノシタ科ウノハナ  
 13日 アカネ科クチナシ  
 14日 マメ科ヤマフジ, ラン科エビネ  
 15日 ナデシコ科セキチク  
 16日 アヤメ科アヤメ  
 19日 センダン科センダン  
 20日 キク科ホオコグサ, イネ科 タケ  
 26日 バラ科トキンイバラ, アヤメ科イチハツ  
 29日 イネ科オオムギ, アヤメ科カキツバタ  
 某日 キンポウゲ科テッセン, ザクロ科ザクロ,  
 バラ科コウシンバラ

《5月》34種

- 02日 バラ科ヘビイチゴ  
 05日 ケシ科ケシ  
 06日 シナノキ科ボダイジュ  
 07日 ヒルガオ科ヒルガオ  
 15日 スイレン科コウホネ, シソ科ウツボグサ,  
 ラン科ネジバナ, クマツヅラ科クマツヅラ  
 18日 ユキノシタ科コアジサイ  
 21日 キンポウゲ科テッセン  
 22日 ユリ科ササユリ, バラ科ニガイチゴ  
 23日 オトギリソウ科ビヨウヤナギ  
 25日 モクセイ科ネズミモチ, キク科ベニバナ  
 26日 ナデシコ科ガンピ, ナデシコ科セキチク,  
 ナデシコ科ナデシコ, アカネ科クチナシ



- 27日 ユリ科ヤマユリ  
 28日 ユリ科ヤブカンゾウ  
 某日 アオイ科フユアオイ，イネ科オオイチゴツナギ，  
 カキノキ科カキ，キキョウ科ホタルブクロ，キク科ヨモギ，  
 キンポウゲ科ウマノアシガタ，バラ科シモツケ，  
 ミズキ科ヤマボウシ，メギ科ナンテン，  
 モチノキ科ウメモドキ，ユキノシタ科ウノハナ，  
 ユキノシタ科ヤマアジサイ，ラン科キンラン

《6月》15種

- 02日 カンナ科ダンドク  
 04日 アオイ科ブッソウゲ，オオバコ科オオバコ  
 06日 カラフネソウ科キツリフネ  
 10日 ノウゼンカズラ科ノウゼンカズラ，アカネ科クチナシ  
 11日 ウリ科ツルレイシ  
 17日 スイレン科ハス  
 21日 ユリ科オニユリ  
 25日 アヤメ科ヒオウギ  
 26日 ラン科フウラン  
 27日 マメ科ナタマメ  
 某日 アオイ科タチアオイ，アオイ科ハマボウ，  
 キキョウ科キキョウ

【秋】

《7月》10種

- 01日 アオイ科タチアオイ，キンポウゲ科センニンソウ  
 08日 ナデシコ科センノウ，ヒノキ科ヒノキ  
 11日 マメ科ササゲ  
 某日 シュウカイドウ科シュウカイドウ，  
 ツリフネソウ科ハウセンカ，ヒルガオ科コヒルガオ，  
 ヒルガオ科ヒルガオ，ユリ科ヤブラン

《8月》19種



- 01日 ヒルガオ科アサガオ  
 02日 ナス科ホオズキ, イネ科アワ  
 04日 ナス科ナス, オモダカ科オモダカ  
 05・18・某日 アオイ科フヨウ  
 07日 キク科フジバカマ  
 12日 ツユクサ科ツユクサ  
 13日 アオイ科トロロアオイ  
 16日 キンポウゲ科トリカブト, ユリ科サルトリイバラ  
 17日 キンポウゲ科シュウメイギク  
 22日 イネ科ススキ, キキョウ科サワギキョウ  
 某日 キク科オグルマ, ツバキ科チャ, ヒシ科ヒシ, マメ科クズ, マメ科ハギ

《9月》11種

- 08日 イネ科イネ, イネ科ススキ  
 10日 イネ科メガルカヤ, キンポウゲ科シュウメイギク  
 20日 オミナエシ科オミナエシ, キキョウ科サワギキョウ, キク科ヨメナ, ユリ科サルトリイバラ  
 24日 リンドウ科リンドウ  
 某日 ヒユ科ケイトウ, ラン科 ラン

【冬】

《10月》8種

- 01日 カバノキ科ハシバミ  
 04日 ウリ科カラスウリ, ユリ科ヤブカンゾウ  
 06日 キク科ハマギク  
 08・15日 キク科 キク  
 21日 キンポウゲ科ボタン  
 某日 ツバキ科サザンカ, ヤブコウジ科ヤブコウジ

《11月》2種

- 11日 ナス科ヒヨドリジョウゴ  
 某日 ツバキ科アッサムチャ